

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-KOTO

THE SERVICE CLUB OF YMCA

Affiliated with the
International Association of
Y's Men's Clubs,
Chartered, 1959

Koto YMCA 3-15 Ishijima Koto-ku Tokyo Japan. Phone (03) 3645-7171. FAX (03) 3645-8454



国際会長 Joan Wilson (カナダ)

アジア地域会長 Tung Ming Hsiao (台湾)

東日本区理事 利根川 恵子 (川越)

関東東部部長 片山 啓 (茨城クラブ)
相川 達夫 (江東クラブ会長)

主題 "Our Future Begins Today" 「私たちの未来は、今日より始まる」

スローガン "Together We Can Do So Much More"

「手を取り合えば、もっとおおくのことができる」

主題 "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」

スローガン "Solidify Y's Men Family for Better World"

「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」

主題 「明日に向かって、今日動こう」 "For the Future, Act Today!"

スローガン 「手を取り合って、今、行動を！」 "Together, Let's Roll Now."

主題 「組み合わされ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

主題 「今一度足元を固めよう！そこからステップアップ！」



2016～2017年度 東京江東ワイズメンズクラブ 12月報

ことしも大盛況の江東バザー (2ページ)



12月例会 (クリスマス祝会)

時 28年12月10日(土) 17時集合 (時間厳守)
場所 レストランmaturite 中央区八丁堀1-4-5
<http://www.maturite.tokyo/> TEL 03-6280-3784
費用 メン8000円 メネット7000円 コメット2000円
第1部祝会 司会 菅原創
前奏
讃美歌 258番「まきびとひつじ」(讃美歌21)
聖書 マタイによる福音書 1章23節
ヨハネによる福音書 13章12-15節
説教 「YMCAにとってクリスマスとは」
野田 沢 牧師 (日本基督教団学生・青年センター 学生基督教友会)
讃美歌 264番「きよしこの夜」(讃美歌21)
献金・後奏
第2部食事 司会 島田徹
開会点鐘 相川会長
挨拶 相川会長/ゲスト紹介 草分俊一/食前の感謝 草分俊一
食事 (最中にマネキンチャレンジを行う予定です)
プレゼント交換 (家族に1つはお持ちください)
報告・閉会点鐘 酒向次期会長
※ハッピーバースティ
メン 19日 本間 剛君 メネット 31日 寺尾 千嘉子さん
コメット 14日 宇田川実緒さん、22日 相川麻衣さん、28日 鈴木健斗君
※結婚記念日
23日 菊池 茂徳・郁子夫妻



会長就任半期を終えて 相川達男

東京江東ワイズメンズクラブの2回目会長職に就いて半年が過ぎました。50歳を過ぎた年齢のせいか時が経つのが非常に早く感じていることもあり、あれよあれよと言う間に大した成果も上げられず年の瀬を迎える事となりました。私の本ワイズ年度の主題は「今一度足元を固めよう！そこからステップアップ！」と言うものでした。私はワイズ活動の基本の多くの部分がCSすなわち地域奉仕活動にあると考え、江東クラブの拠点「江東センター」と周辺地域、そこに携わる人々との交流を活発にすることにより、非メンバーの方にワイズを理解してもらい、YMCA江東センターを盛り上げ、活動するリーダー、センターや幼稚園に集まる子供達を支援し楽しい空間と時間を作る一助になりたいと思っています。(ちょっと盛り過ぎ)と綺麗事を語る反面、会長として思惑もあります。地域活動で繋がった多くの方にワイズを理解してもらい同じ活動をするメンバー加わってもらえたらと思います。奇しくも12月はEMCの強調月間ですが、年度初めに掲げた楽しいクラブづくりをし、こちらから誘わなくても入会を希望する人が現れるようなクラブ運営をしたいという目標は達成できていません。以前メンバーだったポールさんが自ら我々のクラブに帰ってきてくれて現状を維持していますが、メンバー増強には至っておらず、残された半期で少しでも目標に近づいた成果を上げたいと思います。

今月の聖句

「主こそ王。諸国の民よ、おののけ。主はケルビムの上に御座を置かれる。地よ、震えよ。主はシオンにいまし、大いなる方。すべての民の上に高くなります。」 (詩編99篇1～2節)

11月在籍	11月出席者	11月出席率	アクティブファン		ニコニコボックス		クラブ役員	
26名	メンバー 21名	21/25	前年迄	2,169,921円	前月迄	23,000円	会長	相川 達男
内広義会員	メネット 6名	84%	11月	0円	11月分	0円	副会長	小松 重雄
	コメット 5名		残高	2,169,921円	累計	23,000円	副会長	酒向 裕司
1名	ビジター 10名	前月出席率					会計	駿河 幸子
	ゲスト 4名	修正					書記	本間 剛
	メイキャップ 0名	%					直前会長	宇田川 敬司
							連絡主事	草分 俊一

11月本例会報告

宇田川敬司



11月の本例会はユース例会と題し、メンバーの他、関東東部ユース事業主査青木様・東京クラブ長澤様・厚木クラブ田口様、江東幼稚園の保護者そして多数の江東のリーダー達を迎え、盛大に行われました。

講演は、ユースボランティアリーダーズフォーラムに参加した、粉川さん(シナモンリーダー)・篠田さん(ペコリーダー)(※当クラブの篠田メンのお嬢様です。)、全国リーダー研修会に参加した、大木さん(マロンリーダー)の3名のリーダーから参加したフォーラム、研修会の内容を中心にリーダーとしての考えや思いをお話頂きました。

【粉川さん(シナモンリーダー)】今リーダーに求められている物は、学び・愛情・向上心であるとし、それらを考え続けながら子供たちと関わり、リーダー同士の関係を次のリーダーたちにつなげていく。YMCAでしかできない人との関係の中で自身がプラスになる存在になりたいとお話頂きました。

【篠田さん(ペコリーダー)】大切にしたい思いとして、気づく：子供たちの体調や気持ちの変化、対人(たいひと)：子供だからといって、制限をせず人として子供を尊重する、切っ掛け：リーダーとして子供たち活動や楽しみの切っ掛けを与えたい、リーダーとしての信頼：人数だけでなく、リーダー間での親密さを重視して信頼されるリーダーになりたい。とお話頂きました。

【大木さん(マロンリーダー)】子供たちに対して、ただ熱い気持ちだけで進めるのではなく、体験を通して何を学んだか、そして体験を『体験』『指摘』『分析』『仮説化』と項目ごとに振り返る事が重要であり、子供たちの将来に関わる体験をつくる難しさを感じて活動をしている。言葉だけでなく、言動で伝えていきたいという思いをお話頂きました。

私の子供たちは、江東幼稚園の卒園児です。しかし、リーダーの存在は知っていても、子供たちに対して、親以上に真剣に考え、取り組んでいるお話を聞くことができ、子供たちがなぜ卒園しても幼稚園やリーダーが大好きなのか、子供たちが将来リーダーになりたいと言っている意味を感じ取ることができました。リーダー達は私の半分の歳です。しかし、私自身はこんなにも子供に対し熱い思いを持ってはいませんでした。これからを担う子供たちに、こういう素敵で真っ直ぐな、お姉さん・お兄さんがいる事に今後の将来は明るいと感じることが出来る時間でした。

閉会后、リーダーの皆さん・職員・教職員・保護者・ワイズメンと親睦会を催し、オール江東でこれからできることの期待感が胸が熱くなりました。

(参加者：相川、安齋、宇田川、草分、小松、酒向、篠田、島田、鈴木、駿河、藤井、本間)

第2回関東東部 会員増強委員会報告

小松重雄

11月19日、評議会に先立ちEMC委員会が行われました。あらかじめ柿沼事業主査から各クラブへのアンケート調査があり、その資料を参考に話し合いがもたれました。特に会員増強についてはYMCAに通う子供の親、リーダーOB、教会関係者、定年退職者など、対象は様々だがワイズを理解してもらうのが困難な状況であり、打開策として例会の充実や地域奉仕活動への勧誘が必要という意見が多数を占めました。また懸案のエクステンションの候補地として、8地区の中から、浦安、柏の2地区を千葉・グリーンが中心となって動き始めることが決定しました。

第2回関東東部評議会報告

相川達男

本年度2回目の関東東部評議会が11月19日(土)にYMCA東陽町に於いて開催された。評議会に先立ち午前中には部内クラブのEMC担当者が集まり委員会が開催され、江東からは、小松さんと相川が出席。浦安、柏エリアに新クラブを作る構想が採決された。昼食をばさんで評議会に入り、部役員からの報告に続き各クラブ会長からのクラブの現況などが報告された。部内10クラブの内、先行きに希望



を見出せないクラブや将来に消極的なクラブが多く見受けられる一方で江東区内の3クラブは至って元気で健全である印象を受けた。我が江東クラブも全く問題を抱えていないわけではないが、常に前を向いているという点で少し優位な気分になった。今後とも、元気な江東クラブでありたいと思いを新たに第2回評議会であった。

(参加者：小松さん、島田メネット、相川)

第20回ワイズメネットのつどい

宇田川佐知子



11月26日東京YMCA東陽町センターにて『第20回ワイズメネットのつどい』が開催されました。全国から56名もの参加者が集まり、江東クラブからは、メネット、メンを含め、9名が参加いたしました。司会は、江東クラブのメネット会長を務めて頂いている、島田メネットが行い、盛大に開会いたしました。

今年度の事業計画や各クラブの活動報告、会食後はテレビでも活躍されている方を女性講師としてお招きし、(お名前は伏せてほしいとの事。。。)華やかに見えるテレビの業界や子育てと仕事を両立されてきた中での苦労されてきた事を中心にとっても興味深いお話を頂きました。メネットのつどい初参加の私は、『メネット会とは?』が大きく、自分は何をしたら良いのかと緊張気味で参加したのですが、各クラブの活動報告で、楽しそうに活動をされているお話を聞くことができました。ベテランメネットの皆様のパワーに圧倒されながら、今後自分がどのように関われば良いのか考えさせられるひと時でした。

(参加者：安藤、市崎、宇田川、香取、鈴木、島田)

ことしも大盛況！ 江東バザー

メネットコーナー①

菅原陽子

11月6日(日)お天気に恵まれ、江東バザーが開催されました。今年のメネットコーナーは、昨年に続き、ポップコーンと手作り品でした。(手作り品は、キャンドルと、安藤さんのアームバンド)

ポップコーン販売は、宇田川ファミリーとコメット達が活躍で、お昼に材料を追加購入して作るほどの好調な売れ行きでした。うちの小学生の下の子もポップコーン販売のお手伝いをさせていただき、大張り切りでした。私よりも、テキパキと袋詰め、笑顔で接客、釣銭間違わず…その働きぶりを皆さんに褒めていただき、大喜び！今回のバザーの感想文を書いておきますので、記載させていただきます。

メネットコーナー②

菅原けい

わたしは、メネットコーナーで、ポップコーンの手伝いをしていました。ポップコーンをメネットコーナーで出すのは2回目です。1回目の時、私は、剣道の試合があって、バザーに行けませんでした。なので、わたしの中では、バザーでポップコーンを売るのは初めてでした。その日は順調に仕事のできたので、よかったです。来年もまたやりたいなと思っています！』

(参加者：島田メネ、安藤メネ、相川メネ、宇田川夫妻、宇田川お母様、菅原メネ、相川コメ、宇田川コメ、菅原コメ)

今回はチャーハンが採用されるまでのお話。

あれは私が2年連続でバザー委員長をうけた時の委員会でのことでした。当時、在園のママ達から様々な要望が出ていました。毎年、新たな委員に変わってしまうため改善案を申し送りしても全く改善されることはありませんでした。「係りに忙しく子供と一緒に会場内を回る時間がない！」などのご意見。「いったい誰のためのバザーなの？」もちろん集まった資金により様々な支援をするという目的もありますが、その前に参加家族が楽しめなくては苦痛でしかありません。

そこで考えたのがシフト制。どのママたちも半日は子供達と一緒に会場を回れるようになりました。そしてもう一つの改善案が「麺類以外の主食がないので、何か小さな子供でも食べれるものを出して欲しい」と言う当時の要望。下に小さなお子さんのいるママさんならわかると思うのですが、人混みの中で小さな子供に麺類を食べさせるのが意外と大変だということ。そこで発案したのが小さな子供でも口に運びやすいパラパラチャーハンでした。初年度「本当にパラパラになるの？」という懸念もありましたが、うまくパラパラし評判になりました。お祭り事は楽しんでなんぼ！ですね。

そば&うどん

山崎常久



好天の下、今年も江東YMCAバザーで蕎麦&うどんコーナー。宮入製麺特製の生麺を熱々の湯でほぐして、レシピを忠実に再現したカツオだしの奮った汁をかけ、天かすをかけてネギをトッピングしたら出来上がり。イメージとしては神田の藪とか浅草の尾張屋、愛宕の砂場という老舗の名店ではなく、品川駅ナカの名店、常盤軒。そもそも江戸時代のファーストフードなのだからこれでいいのだ。ポイントは茹で際にキッチリとほぐしながらも茹ですぎないこと。プリッ、ツルツとした食感の全てがここにかかってくる。そんなじょそこいらの駆け出しに扱える筈もなく、この蕎麦うどんコーナーに関わるのは江東ワイズでも限られたメンバーのみ。敢えて名は伏せるが、匠の技が光る一角であった。

ヤキトリ

菊地茂徳

11月6日晴天！朝より準備、仕込み始まる。先ず一番、炭を沢山起こす、煙が目に入り苦しい。後は備品、炭の状態を見ながら揃えてゆく。ワイズ入会してからヤキトリ一筋数十年？自然と体が動く。準備OK、10:00開店。後は1500のヤキトリをただひたすらに焼くだけ、風向きにより煙が体を襲い涙が出るが、無心になっていると感じない。2時頃売完。途中帰宅する。いつも片付けしなくて大変申し訳ないと思っています。夕方プールに行き約1km泳ぎ、体についた油、匂いをおとす。また来年ヤキトリを焼かせていただけることを楽しみにしています。店員の皆さんありがとうございました。

ポール歓迎会&バザー打ち上げ

山崎常久

東陽町の花の舞でバザー打ち上げを兼ねたポール歓迎会。メネット数名も交えて和やかに、なんて筈もなく、飲んで騒いで楽しみました。ポールは東雲のチャーターメンバーで、できる前は江東でワイズ慣れをしてから東雲のチャーターに関わりましたが、保育園・幼稚園園児父兄中心の東雲は彼には若すぎたようで、同年代で騒いでいる江東クラブへのカムバックです。明るいキャラクターは江東にピッタリで、早くもポールというファーストネームからポール牧のピッチンパッチンピチパチピッチンを小松さんから強制的に学習させられ、随所で披露して笑いをキッチリ取っていました（私はポールと言ったらビートルズのマッカートニーだと思うのですが……）。ポールのこれからの江東クラブでの活躍が楽しみです。

(バザー参加者：相川、安藤、宇田川、香取、菊地、草分、小松、酒向、佐藤、島田、菅原、鈴木、駿河、寺尾、中野、藤井、柳沢、山崎、ポール)

ここ最近、江東クラブには新規入会がしばらくなく、例会への参加も少なくなっています。そのためにこの企画が始まったのだと思いますので、わたしなりに思うところを書いてみたいと思います。

ワイズメンズクラブはボランティア団体です。ボランティア団体に参加するのは、当然、その団体が行うボランティア活動がしたいからです。誰のためのどんな活動か。それが、活動に参加するかどうかのまず最初に見るべきポイントです。ワイズメンズクラブは、青少年のためにYMCAを支えるさまざまなボランティア活動をするクラブです。活動の内容や量ともにクラブによって違っていますが、青少年やYMCAのために活動したいという人が集まることは共通しています

ボランティア活動が継続していくかどうかは、ボランティア活動の対象や内容だけでなく、対象の役に立っていることが実感できるかが重要になっていきます。ワイズメンズクラブの場合は、YMCAやそこに集まる子どもたちやリーダーたちのために役立っていることが実感できるかということになります。

ボランティア活動が継続していくかどうかを左右するポイントに、活動をともにする仲間の存在があります。誰かの役に立ちたいという同じ志を持つ仲間の存在は、単なる友達といっしょにいるのとは違った充実感につながり、ボランティア活動をつ続けるモチベーションにつながります。

最初に述べたとおり、例会への参加は少なくなっているようですが、ボランティア活動にはそれなりの人数が毎回参加しており、活動が継続されています。日程によってはメンバーを集めるのに苦労することもあります。とりあえずなんとかなっているところが江東クラブのすごいところだと思います。メンバーが集まり、一つの活動を終える度に、仲間っていいなと思います。だから私も続けられるのだと思います。

できることなら、もう少し活動が活発化させたいと思います。それには、現在クラブで行っている活動を見直したり、新しい活動を始めたりといったことが必要になると思います。

今までの活動を振り返ると、震災後に被災地支援に行ったり気球を上げたりしていた頃が一番充実していたと思います。何か人の役に立ちたいと思っている仲間たちがいるのですから、その力が活かせる活動を行いたいと思います。そして、そのような仲間が増えることが、支援の必要な人のためになり、地域社会のためになり、そして結果的にクラブのためにもなるのだと思います

親睦と奉仕クラブとそのメンバー

奉仕クラブとは、地域社会に存在する一握りの職業人の親睦のエネルギーを何らかの形で社会改良のエネルギーとして、放出できる親睦団体であり、それなりの社会的存在の基盤を持っている。その中で、メンバーは自己修練を積み、心の良質化を図るわけである。これをもっと純度の高いものに高められたら宗教の世界に入ってしまう訳だが、それほどまでに純度の高くない世俗性の強い親睦団体が奉仕クラブと定義づけられる。だから偏狭な宗教論を持ち込むのはクラブの危機につながるといわねばならない。(中略) 親睦は奉仕の根幹であり、そこから出たエネルギーがYMCAに向けられ、社会に向けられ、しかも個人の技として自然になされていけばよいのである。(中略) 親睦の本質は、自分たちも豊かになって行くが、豊かになる反射的な効果で、その親睦によって培ったエネルギーを世の為、人の為に尽くして昇華させていくことである。まして、誠実で人に対して思いやりのあるメンバーが、その恩恵をメンバー同士の中に温存するのではなく、社会改良のエネルギーとして放出するのは必然的なことである。(中略)

メンバーには良質な職業人が望まれる。(中略) ところで良質な職業人とはどのような人を言うのか？自分と他人を峻別しないで、目に見えない因縁で結ばれていることを自覚できる人—自分を取り巻く全ての人たちとの相関関係で自分が成り立っている因縁を自覚するために生涯教育があり、周りの人々によって教えられていることを認められる人でなければならない。自分とは他人にとっての必要条件であり、他人とは自分にとっての必要条件である。他人に己を投影し、己に他人を投影する—それが自己研鑽につながるのである。メンバーになるための条件としては、少なくとも以上のようなことが多少なりとも自覚できる人で、自分の職業では体験できない知的交流によって新しい発想が生まれ、自他を峻別しない心の絆を大切に「連帯感」の認識とその質的向上を図って行くことが大切である。(後略) 奉仕クラブのメンバーはすべての思想信条の自由が保障され、その対等性と全ての思想に発展の契機を認めなければならない。異なった思想信条の交流によって次の良質な思想が生まれてくるものである。(後略)

(小堀憲助—1981年当時中央大学法学部教授—「奉仕クラブとしてのワイズのあり方」(1981年8月日本区EMCシンポジウム)より抜粋。(「ワイズ必携」より転載)

▼江東バザー

11月6日(日)、天候は晴れ!そして暖かい!絶好のバザー日和となりました。収益は昨年より約20万円UPの約150万円を得ることができました。この益金の使途は、子どもの遊具・文庫、地域協力活動、チャリティーランチイベント・費用補助、ボランティアリーダー養成、国内復興支援募金、国際協力募金等に用いられる予定です。

今年度のテーマは「みんなでつくる楽しいバザー」。子ども、保護者、リーダー、ワイズ、メネット、スタッフ…準備から本番まで楽しい時間を過ごすことができましたのではないのでしょうか。疲れよりも楽しさを多く感じていただければ嬉しいです。ありがとうございました。

▼ソシアスフォーラム

11月26日、山手センターにて「ソシアスフォーラム」が『共に語ろう東京YMCAの未来!〜中期計画とブランディングから〜』をテーマに山手センターで行われ、約50名が参加した。菅谷淳副総主事より「2016年度〜2018年度中期計画」、星野太郎主任主事(日本YMCAブランディングタスクチームメンバー)よりYMCAのブランドコンセプトが紹介され、その後分団協議にて東京YMCAの今後の活動や広報の在り方等が幅広く語り合われた。

▼こどもクリスマス会・大人クリスマス会



子どもを対象としたクリスマス会と大人を対象としたクリスマス会の2本立てで、12月3日(土)に開催いたしました。子どもクリスマス会は「弦楽四重奏、キャンドルサービス、クリスマスメッセージ」を基軸としてプログラム編成。大人のクリスマス会は、ゴスペルソングを習いつつみんなで歌い、楽しみながらクリスマスメッセージを織込んだプログラムでした。クリスマス会メッセージは、日本基督教団亀戸教会の堀川 樹牧師と堺福音教会東京チャペルの北秀樹牧師へ依頼。尚、奉げられる献金は国際協力募金に用いらさせていただきます。

▼今後の予定

- ・オール東京スキー実技リーダートレーニング:12月15日〜18日・妙高高原&尾瀬戸倉
- ・江東幼稚園&江東センターは12月23日〜1月5日まで休館です。
- ・スキーキャンプ
12月27日(火)〜30日(金)、尾瀬戸倉のゲレンデでスキーキャンプを開催いたします。
- ・デイキャンプ+1泊
12月21日(水)〜23日(金)、1日目はデイキャンプ。2日目は1泊のお泊り。宿泊先は高尾わくわくビレッジです。
*お子様!お孫さま!…冬休みに価値ある体験を!!!是非、ご参加ください。
- ・子育て講演会:1月28日(土)・しのめYMCAこども園
岡田武史氏(元サッカー日本代表監督)が子育ての明日を語ります!
- ・オール江東 街頭募金: 2月18日(土)・錦糸町駅周辺
- ・ワイズサッカー大会 3月5日(日)

11月 役員会議事録

2016年11月28日

於:江東YMCAセンター3階

■報告事項

1. 熊本ジェーンズクラブより支援金に対しての感謝のメールあり。
10月の3クラブ合同例会のスマイル\30,000と祝電に対するお礼(熊本ジェーンズ・上村さんより)

■議事項目

1. 12月本例会(クリスマス例会)について

日時:12月10日(土)17:00〜20:00(前半30分礼拝:森田牧師)
場所:八丁堀(茅場町)のレストラン“MATURITÉ(マチュリテ)”
幹事:島田B委員長 詳細は追って連絡。

2. 江東ワイズ忘年会に関して

12月29日(木)に役員会も兼ねて開催。

3. 在京ワイズ新年会に関して

1月7日(土)“新年歌はじめ”山手センターにてホスト:東京たんばばサービスクラブ

4. 新年例会に関して

日時:2017年1月14日(土)開催時間協議 会場:アンフェリシオンBIF 燕路師匠 会費¥5,000ぐらい、メネットオークション開催予定

5. 東陽町クリスマスオープンハウス(12月23日開催)に関して

担当:菅原さん、参加者を以後確認。例年通り、そば&うどん出店予定。

6. インビテーションキャンペーンに関して

EMCの一環。友人を例会に誘う。2016.12〜2017.3の期間。会員数の2割の目標。

東日本区大会でPR賞にて表彰予定。ポイント制(例会出席、入会に応じで)

7. CS写真コンテストに関して

東日本区大会にて表彰。2017.3.15〜2017.4.15募集。加藤CS事業主任宛てに

送付。

8. その他

●第二回東西日本区交流会:参加者12月31日締め切り。2017.2.4〜2017.2.5東山荘にて。

登録料:¥8,000(宿泊込¥13,000)先着400名

●EMC【エクステンション】:柏、新浦安の2地域を検討中

■報告事項〜その2

●バザーに関して:天候に恵まれ、150万の収益(前年20万UP)

課題のゴミの分別(特定の保護者に負担?)、アルコール禁止ともにOK。

●本例会(ユース報告会)に関して:保護者&リーダーが、多数参加頂き良かった。(2次会も盛り上がった。)ユース委員の青木さんからも好評価。YVLFの昼のワイズからのカレーライスの差し入れ⇒どう評価する?
参加者:相川、宇田川、香取、草分、小松、酒向、篠田、駿河、藤井、本間

12月第一例会報告

2016年12月1日

於:江東YMCAセンター3階

議事項目

1. 12月本例会(クリスマス例会)について

12月10日(土)開催。場所、八丁堀のレストラン マチュリテ 17時〜
会費 メン8000円 メネ7000円

2. 江東ワイズ忘年会に関して

12月29日(木)夕刻開催予定 参加者確認の上場所などは後日連絡

3. 在京ワイズ新年会に関して

1月7日(土)山手センター 12:30〜
参加者確認 藤井さん、小松さん、草分さんの予定

4. 新年例会に関して

開催予定2017年1月14日(土)開催時間 夕刻の時間帯で寺尾さんと協議
会場:アンフェリシオン 落語鑑賞 会費5000円の予定

5. 東陽町クリスマスオープンハウス(12月23日開催)に関して

担当:菅原さん 参加可能者を以後確認。菅原さん、小松さん、草分さん、相川、その他:江東の担当はそば、うどん・そば、うどんの材料手配は香取さんをお願いする。ラッフル券販売

6. インビテーションキャンペーンについて

関東東部 柿沼EMC事業主査よりキャンペーン実行の依頼有

7. 2月本例会に関して

小松C委員長 現在検討中

8. その他

①駿河園長先生より江東YMCA幼稚園のクリスマス献金の一部をワイズのロールバックマラリアの支援に充てて頂ける旨提案が有りありがたくお受けすることとする。これに際して、ご父兄の前でロールバックマラリアの説明とお礼を藤井さんにしていただくこととする。

②江東クラブ次期役員を選考にあたり宇田川直前会長を委員長とした選考委員会を組織。選考委員メンバーはABCの各委員長と現会長相川とする。

③東西交流会出席予定者確認 藤井さん、小松さん、相川
第一例会出席者(敬称略) 藤井、香取、小松、島田、宇田川、駿河、草分、相川



第2回東西日本区交流会

「語ろう!

未来につなぐワイズスピリットを!」



◆日程 2017年2月4日(土)〜2月5日(日)

◆会場 日本YMCA同盟国際青少年センター・東山荘

◆プログラム 講演:中道基夫氏・日本YMCA同盟理事
「YMCAのブランディングとワイズ」
講演:山田公平氏・ワイズ国際事業主任
「ワイズとYMCA、今後への期待」
*2日間、楽しい交流会など満載!

◆登録費 宿泊者13000円、宿不要者:8000円(食事付)

◆登録受付期間 1月14日〜1月23日(先着400名)

◆その他 ・前泊、後泊(夕食、朝食付きで各5000円)

・新幹線三島駅⇄のチャーターバスを用意
(予約制、実費負担)

・参加者の献品によるチャリティーバザー実施
各クラブの物販スペースを提供

<第2回東西日本区交流会実行委員会>

編・集・後・記

「親睦と奉仕クラブ……」の記事の小堀憲助氏は氏の提唱する奉仕クラブ論を1971年設立された京都パレスクラブ(クラブテーマ「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」、2016年7月1日現在クラブメンバー数65名)はその存立の理論的根拠としており、1973年東京グリーンクラブの設立時にもキーノートスピーカとして招かれ、「奉仕の基本は親睦から」と講演した。その後の京都で設立された各クラブで「小堀理論」として京都部を中心に支持されており、ワイズにおける唯一の外部の人による論である。(HF)